

平成23年12月20日 『県民主催タウンミーティング』 主な発言要旨及び施策への反映状況調

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
参加者発言内容	知事等発言内容	概 要	部・課名
【ポリオワクチンについて】			
○現行の生ワクチンは麻痺が残ると聞いている。不活化ワクチンの導入は早くても再来年の春と聞いているが、県ではもっと早いワクチンの導入を考えていないか。	<知事> 並行輸入する方法はあるが、本人がリスクを負うやり方になってしまう。リスクは行政がしっかりみれる形にするのが望ましい。一日も早く国が不活化ワクチンを認めるように働きかけをしている。	○平成24年秋からの導入(前倒し)に向けて国も努力しているので、その推移を注視したいと考えています。	健康福祉部 健康長寿課
【学校給食の放射能検査について】			
○学校給食の放射能検査について、国の基準値では緩すぎるので、県独自の厳しい基準で検査してほしい。 ○学校給食に使用する食材については、あらかじめ公表し食べる食べないの判断を親ができるように県から強く指導してほしい。	<知事> 学校給食は市町村の事務であるから市町村と相談して進めていく。 地産地消を行ってれば、県はきめ細かく食材の検査をしているので大丈夫だと思う。給食では市町村も県外産については安全な物を選んで利用している。 県では給食の検査機器を増強して、きめ細かい検査を行う。心配な食材については検査を充実させていく。	○学校給食に使用する食材の放射性物質検査については、4教育事務所に検査機器を整備し、新たに保育所給食等の食材も検査対象に加える等検査体制の充実を図っています。 ○検査の結果、放射性物質が検出された場合は、基準値以下であっても給食用食材として使用しない旨市町村等へ要請します。 ○引き続き検査の実施及び検査結果の公表により、保護者等の不安を軽減し、学校給食への理解や安心を図ってまいります。	教育委員会事務局 保健厚生課
【放射性物質に汚染された瓦礫の受け入れについて】			
○汚染瓦礫を受け入れないで欲しい。		○まず、県内施設から発生している汚染廃棄物の処理について最優先で考える必要があり、現時点においては市町村に対して受入処理を推進することはできないと考えています。 汚染廃棄物に関する健康への影響に対する不安等が寄せられているため、汚染廃棄物の処理に係る安全性や国の責任を明確に示すよう国に求めています。	環境部 廃棄物対策課

平成23年12月20日 『県民主催タウンミーティング』 主な発言要旨及び施策への反映状況調

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
参加者発言内容	知事等発言内容	概 要	部・課名
【ホットスポットについて】			
○東信に限らず、北信地域にもホットスポットが無数にあるはず。学校での落ち葉拾いや幼稚園での焼き芋などは危険である。	ホットスポットについては否定するつもりはないが、県が全ての場所を検査できる訳ではないので、どこにどの程度のものがあるのか、県民の皆さんが持っている具体的なデータを県に教えて欲しい。	○放射能調査事業。 県では空間放射線量の継続測定や農用地土壌調査等により、県内における放射能汚染状況の把握を行っています。 局所的な汚染情報が県民から提供された場合は、市町村と情報共有を図り、適切な対応に努めてまいります。	環境部 環境政策課